

オンラインで日韓の演劇の街、下北沢——大学路を繋ぎます！

～韓国を知り、日韓演劇の未来を探る～

A 11月21日(土) 18:00-20:30

「社会に应答する演劇、
演劇に应答する社会」

講師：ク・ジャヘ
ゲスト：安田菜津紀
司会：西尾佳織

18:00- トーク：ク・ジャヘ
19:00- 対話：ク・ジャヘ×安田菜津紀

ポストドラマの手法によって演劇を制作しているク・ジャヘ氏による自作解説(セウォル号事件を扱った「キリングタイム」、Me too問題を扱った「加害者探求_付録:謝罪文作成ガイド」)を通して、韓国における、あるいは韓国演劇における社会構造・意識の変化について情報を共有する。ゲストにフォトジャーナリストの安田菜津紀氏をお迎えし、芸術と社会の関係、芸術家とアクティビストとの類似や相違について考える機会としたい。

B 11月22日(日) 13:00-15:30

「演劇を通してみる
戦時下・植民地下の日韓」

講師：ソン・ギウン
講師+ゲスト：外村大
司会：川口典成

13:00- トーク：ソン・ギウン
13:45- トーク：外村大
14:40- 対話：ソン・ギウン×外村大

日韓共同制作において日帝時代を背景としてチェーホフの戯曲などを翻案し演劇創作しているソン・ギウン氏による作品紹介レクチャー。戦前・戦中の新劇運動における日本人と朝鮮人とのかわりについて歴史学者である外村大氏によるレクチャー。その後、両者によるディスカッションを行う。演劇という観点から、日帝時代の韓国と日本を見つめ、情報を交換する。

C 11月22日(日) 18:00-20:30

「街と演劇」

講師：パク・チャンニョル
ゲスト：小川絵梨子
司会：佐川大輔

18:00- トーク：パク・チャンニョル
19:00- 対話：
パク・チャンニョル×小川絵梨子

パク・チャンニョルはソウル演劇協会の会長を務め、演劇の上演という方法に限らず、さまざまな形で「街」との繋がりを模索している。今回のセミナーではこれまでの自身の具体的な活動を紹介してもらおう。その後、対談者に新国立劇場演劇部門芸術監督の小川絵梨子氏を招き、現在のコロナ禍において日韓の演劇界がどのような変化を迎え、また変わらずに演劇活動を行っているのかについてのトークを開催する。



구자혜 ク・ジャヘ

1982年生まれ。劇作家、演出家。劇団「ここは当然、劇場(theater, definitely)」主宰。主に、社会で起き続ける惨事を演劇でどう向き合えばいいのかということに常に考えて作品作りを臨む。代表作としては、芸術界でのMe too問題を扱った「加害者探求_付録:謝罪文作成ガイド」、セウォル号シリーズ「キリングタイム」、「commercial, definitely」、「倫理の感覚」、「シェイクスピアソネット」等がある。2018年、クィア、女性、俳優、労働を扱った「演劇実験室恵化洞一番地」がTPAM(Performing Arts Meeting in Yokohama)に招聘された。



성기웅 ソン・ギウン

1974年、大邱生まれ。劇作家、演出家。第12言語演劇スタジオ 主宰。1999年、東京外語大学で1年間交換留学。日本語を学び、平田オリザ、坂手洋二、柳美里などの戯曲を翻訳。松田正隆演出の『HIROSHIMA-HAPCHEON: 二つの都市をめぐる展覧Seoul version』(2011)、野田秀樹作・演出の『半神』(2014)の演出協力、多田淳之介とのコラボレーション(『かもめ(カルメギ)』(2013、2014日本上演)、『颯風奇譚』(2015))、平田オリザとの共同脚本・創作として『新冒険王』など。



박장렬 パク・チャンニョル

1990年、「演劇集団 反」を創立。純粋な演劇制作や現場のシステム作りに努める。2001年、「演劇実験室一恵化洞1番地」の第3期同人として、『演出家デビュー戦』を実施。2005年、低予算演劇運動として「100演劇共同体」を作り、低予算演劇の運動を拡大。2010年から2016年まで、ソウル演劇協会の3、4代会長を6年に渡って歴任する。協会における社会的な声の強化や国際交流に尽力する。2019年、「大韓民国演劇祭(ソウル)」の芸術監督を務め、「大韓民国ネットワークフェスティバル」を企画。演劇の未来性と地域性を広める。常に、演劇における現場性、社会性、持続性という3つの哲学を重視している。現初代「慶尚南道道立劇団」芸術監督。



安田菜津紀 (フォトジャーナリスト)

1987年神奈川県生まれ。NPO法人 Dialogue for People(ダイアログフォーピープル/D4P)所属フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『写真で伝える仕事-世界の子どもたちと向き合って-』(日本写真企画)、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。



外村大 (歴史学)

東京大学教養学部・大学院総合文化研究科教授。1966年生まれ。1988年、早稲田大学第一文学部卒業、1995年、早稲田大学大学院文学研究科中退、2002年、博士学位取得。専門は日本現代史。近年は、プロレタリア演劇運動での日本人と朝鮮人の交流を研究している。著書・論文として、『朝鮮人強制連行』(岩波新書、2012年)、『朝鮮民族にとっての一九三八年・新協劇団『春香伝』』(『在日朝鮮人史研究』第48号、2018年9月)がある。



小川絵梨子 (演出家)

1978年生まれ、東京都出身。アクターズスタジオ大学院演出部を卒業。演出作品に、『今は亡きヘンリー・モス』『ロンサム・ウェスト』『ヒストリーボーイズ』『RED』『ビューティークイーン・オブ・リーナ』『FUN HOME〜ある家族の悲喜劇』『マクガワン・トリロジー』『スカイライト』『熱帯樹』『WILD(ワイルド)』『タージマハルの衛兵』『じゃり』など。紀伊國屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞優秀演出家賞ほか受賞。

【参加料金】 通し券:1,000円 ※ 協会員:無料 【参加要項】 Zoomに接続可能であること

【お申し込み】 チケットシステム「Peatix」からご予約ください ▶ <https://peatix.com/event/1645103>

上記のシステムが利用できない方は、お名前、連絡先(メール、電話)を明記の上、メールにてご応募ください。のちほど詳細をご連絡いたします

✉ jda.iad.info1@gmail.com

☎ 080-3124-7210 (担当: 柏木 ※セミナー当日のみ受付)

申し込み
フォーム



【参加不切】 チケットシステム「Peatix」は各セミナーの直前まで、メールでの申し込みは11月18日(水)まで

国際演劇交流セミナーとは？

1990年代より、近隣の韓国、中国の演劇人との交流、さらには東アジアの国々と演劇交流をかさね、1999年からは文化庁による本格助成の下、通年で開催するようになり、世界各国の演劇人を講師として、ワークショップ、レクチャー、シンポジウム、リーディング等を開催しています。これまでに、アジア、ヨーロッパ各国より多くの演劇人を招聘してきました。今後も「世界の演劇人との交流」、ひいては「国際的視野を持つ日本の演出家、及び劇作家、俳優の育成」を目的に、様々なセミナーを実施致します。